

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

作成主管課	商工観光課
	企画政策課
関係課	まちづくり推進課

施策名	観光	施策コード	2-1-1
-----	----	-------	-------

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり
	小政策	笠間を体感できる観光・産業を振興します
現況と課題	<p>本市は、笠間稲荷神社、笠間日動美術館や茨城県陶芸美術館、笠間焼などの歴史的資源・芸術・伝統文化をはじめ、自然環境を背景とした多くの観光資源に恵まれています。また、観光は、産業振興をはじめ、市民活動や高齢者の活躍の場となり得るなど、地域活性化の観点からも重要な要素となっています。</p> <p>これらの観光資源を生かした通年滞在型の観光振興を図るため、平成20年3月に「笠間市観光振興基本計画」を策定し、各種の事業を展開してきました。また、観光協会による旅行商品の販売やグリーンツーリズムを取り入れた農業体験、情報発信としての笠間ファン倶楽部の充実など各種施策の展開や「恋人の聖地」といった新たな視点での取り組みも始められています。</p> <p>しかしながら、本市の平成25年における入り込み観光客数のうち、つつじまつり、陶炎祭、菊まつり、笠間浪漫等、春・秋のイベントや初詣における観光客が全体の8割を占めており、依然として通年型観光地への発展が遂げられていない状況となっています。</p> <p>今後は、地域魅力の向上、体験型プランや食の充実、情報発信力の強化、広域観光の推進などに取り組みながら、来訪者が何度でも訪れたい、少しでも長く滞在したくなる魅力づくりを進める必要があります。また、観光都市として、災害発生時における適切な避難誘導など、滞在者に対する安心・安全対策にも努めていく必要があります。</p>	
施策目標	人材を含めた豊富な地域資源を観光資産として総合的に活用し、本市の魅力の効果的な発信に努め、観光都市としての魅力向上による通年型観光地を目指すとともに、地域経済の活性化を図ります。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	市民実感度調査においては、観光都市としての魅力の向上については市民の約9割の方が重要と感じているが、魅力が向上していると感じている市民は、6割ほどで昨年度と横ばいの状況である。観光客動態調査の笠間稲荷神社でのアンケート結果においては、駐車場及び駐車場等案内板の不足についての意見があった。
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
観光都市としての魅力が向上していると感じている市民の割合	市民実感度	57.630	54.030	61.650	55.790	54.510	0.000
	加重平均値	2.640	2.608	2.682	2.587	2.583	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		87.780	88.350	88.800	90.160	0.000
	加重平均値		3.504	3.467	3.433	3.519	0.000

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
入り込み観光客数	目標値	千人		3,290	3,295	3,315	3,338	3,338
	実績値	千人	3,147	3,473	3,548	3,521	3,500	3,500
	達成度	%		105.56	107.68	106.21	104.85	104.85
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
観光情報HP(市、観光協会)アクセス数	目標値	件		206,000	240,000	240,000	240,000	240,000
	実績値	件	191,869	220,516	249,683	247,891	238,702	0
	達成度	%		107.05	104.03	103.29	99.46	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	茨城県で集計した全国基準である観光客動態調査の入込観光客数を指標に設定し、平成18年度から平成26年度の入込観光客数の平均人数の入込観光客数で把握する。観光情報を発信する市及び観光協会のHPのアクセス数で把握する。
	目標値設定の考え方	イベントなどは天候に左右され入込観光客数が大きく増減するが、通年型観光地を目指し安定した入込観光客数の確保に向けた目標値を設定する。HPのツイッターやフェイスブックなどでの観光情報の発信によるアクセス数の増加に目標値を設定する。

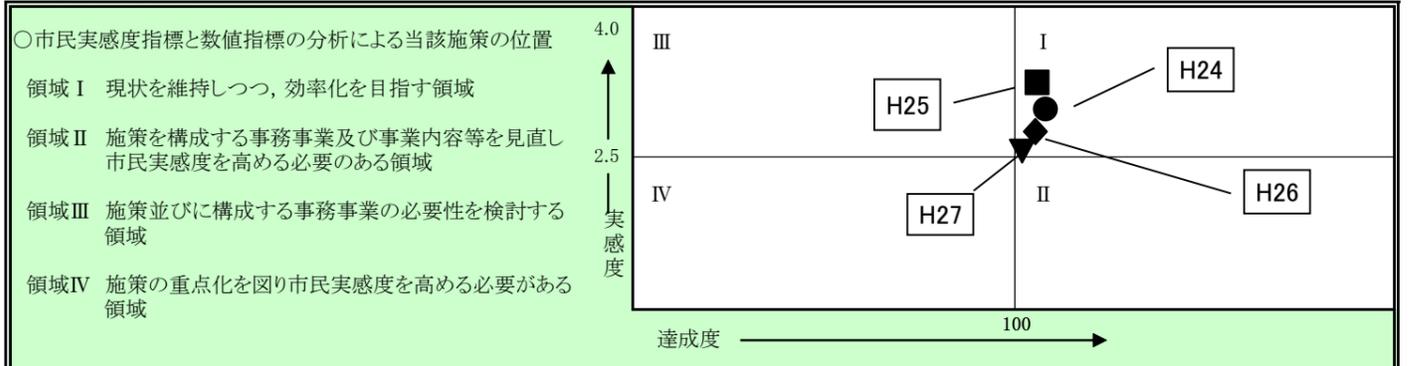
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 市民は、地域の自然、歴史文化、伝統行事の保全継承に努めるとともに、観光関連事業者、観光関連団体、行政と協力・連携を図りながら、愛着と誇りを持って主体的に地域づくりに参加する。(笠間市観光振興基本計画)
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 市民、観光関連事業者、観光関連団体との協働のもと、行政各部局の連携を十分に図りながら、観光振興施策を展開するとともに、市民、観光関連事業者、観光関連団体等の独自の取り組みを支援する。(笠間市観光振興基本計画)

3 平成27年度の取組状況

取組状況等	取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 春、秋のイベント開催に向けて、茨城県庁関係機関や新聞社・テレビ局・ラジオ局等のメディアへの表敬訪問(春4日 秋3日)や、各種観光キャンペーンにおいて各種イベント開催前・開催中に観光PRを行ったことにより集客が図れた。
-------	---

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	指標を分析した結果施策目標は達成されたのか 入り込み客数は、観光PR等により目標を達成できている。観光情報HPアクセス数は、新聞・テレビ・ラジオ局等のメディアを通じた情報発信を行ったことにより多くのアクセスがあったが、目標値に0.54%届かなかった。
-------	--

構成事務事業の適正性	施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か 施策目標を達成するために適正である。
------------	---

残された課題	平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。 イベントによる集客は有効な手段があるが、天候に左右されるなど課題が残ることから、年間を通じた集客のできる通年型を目指すための企画立案等の強化が求められる。
--------	--

5 今後の方向性

取組方針	平成29年度に向けた施策方針 観光客の増加を図るため、観光PRや観光キャンペーンの連携を強化する。通年型の観光地を目指し、地域資源を生かした観光客の誘致や地域経済発展のため笠間観光協会や観光関連団体との連携強化や支援を検討する。外国人旅行者向の受入態勢の構築・拡充を図る。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策名 01 観光

事業費合計	平成25年度	平成26年度	平成27年度	3カ年計	3カ年平均
	154,666	144,309	175,881	474,856	158,285

No.	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価		
				成果指標①	単位	平成25年度		平成26年度	平成27年度	平成25年度				平成26年度	平成27年度
1	観光動態調査事業	笠間市内の数ヶ所の観光拠点において、観光客数と年齢・人数・出発地などを調査することにより、観光客の動向を判断するための資料を取得する。 調査地点・笠間稲荷神社・あたご天狗の森・笠間工芸の丘・笠間日動美術館・茨城県陶芸美術館	101 義務的事業	入込観光客数	人	3,547,500	3,521,300	3,600,000	県補助	146	150	150	03 観光振興と交流の担い手づくり	商工観光課	
2	恋人の聖地関連整備事業(繰越)	社会資本整備総合交付金事業を活用し、北山公園及び愛宕山周辺の観光拠点整備やネットワーク化、回遊性を増す施策等を行うことで、観光人口の増加と賑わいを創出する。	102 建設・整備事業	入込観光客数	人	3,547,500	3,521,300	3,600,000	国補助	0	0	30,115	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	7
3	誘導看板整備事業(愛宕山)	社会資本整備総合交付金事業を活用し、岩間駅周辺から愛宕山方面への誘導看板を設置し、吾国愛宕ハイキングコースへ回遊性を増す施策等を行うことで、観光人口の増加と賑わいを創出する。社会資本整備総合交付金事業(岩間駅周辺地区)H27～H31	102 建設・整備事業	入込観光客数	人	0	3,521,300	3,600,000	国補助	0	0	1,944	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	7
4	恋人の聖地関連整備事業	社会資本整備総合交付金事業を活用し、北山公園及び愛宕山周辺の観光拠点整備やネットワーク化、回遊性を増す施策等を行うことで、観光人口の増加と賑わいを創出する。	102 建設・整備事業	入込観光客数	人	3,547,500	3,521,300	3,600,000	国補助	33,806	4,403	8,208	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	7
5	(廃止)観光施設案内板設置事業	市内に設置してある看板等について、道路工事等により移設の必要が発生した場合など、実用に応じて事業を実施する。	102 建設・整備事業	入込観光客数	人	0	3,521,300	0	市単独	0	1,285	0	02 情報発信の強化	商工観光課	
6	筑波山地域ジオパーク構想推進事業(加速化交付金)	貴重な地域資源の適切な保護及び広域連携、新たな価値の付加による産業の活性化を図るため、筑波山周辺地域ジオパーク構想を推進する。	103 内部管理事務			0	0	0		0	0	0	01 多様な観光魅力の創出	企画政策課	
7	(廃止)工芸の丘施設改修事業	笠間工芸の丘において、大規模な修繕等が発生した場合に修繕工事を実施する。	105 維持管理事業	入館者数	人	0	230,940	0	市単独	0	2,322	0	02 情報発信の強化	商工観光課	
8	工芸の丘管理事業	地場産業の振興、体験型施設、観光情報発信機能として整備された施設の魅力を更に高めるため、周辺施設(陶芸美術館、あそびの杜、イベント広場、陶の小径等)との回遊性を高める。	105 維持管理事業	工芸の丘販売額	円	274,062,819	257,738,196	280,650,951	市単独	10,956	9,999	9,875	02 情報発信の強化	商工観光課	1
9	菊栽培所管理事業	菊まつりに展示する各種の菊を計画的に栽培する。菊栽培技術の広がりを図るために、市民の希望者を募り菊栽培講習会を定期的に行い、市民菊花展に参加してもらう。	105 維持管理事業	菊まつり入込客数	人	809,000	813,000	789,000	市単独	8,871	9,685	9,596	03 観光振興と交流の担い手づくり	商工観光課	11
10	観光施設管理事業	訪問者が快適に利用できるように公園等の維持管理を行う。 ・山麓公園・佐白山周辺・観光道路・観光案内板・モニュメントなど	105 維持管理事業	維持管理費用	円	11,389,000	12,926,000	10,635,188	市単独	10,601	12,138	10,635	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	9
11	駐車場管理事業	自家用車等で訪問する市民及び観光客のために駐車場を整備する。 ・荒町駐車場100台・鷹匠町駐車場240台(大型可)・稲荷駐車場250台(大型可)・千人溜駐車場 50台 荒町、鷹匠町駐車場は年末年始有料 ・普通自動車 500円/台・小型バス 1,000円/台・大型バス 1,500円/台 鷹匠町駐車場については、平成27年度で廃止	105 維持管理事業	年末年始駐車台数	台	5,782	5,174	5,363	市単独	8,541	21,984	12,382	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	9
12	観光施設災害復旧事業(台風18号関連)(繰越)	台風18号により、土砂崩れがあった愛宕山大駐車場北側斜面の水路等の復旧工事である。	105 維持管理事業	入込観光客数	人	0	0	0	市単独	0	0	2,117	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	
13	つつじまつり事業	春を代表するイベントとして、安らぎと癒しを与えるまつりとして実施し、観光客の誘客を図っていく。陶炎祭の会場間でシャトルバスが運行され、イベントの連携が図られている。 【入園料】 ・大人(高校生以上) 500円 ※中学生及び障がい者手帳お持ちの方 無料 ・団体割引(20名以上) 100円引	106 政策的事業	入込客数	人	45,637	42,436	40,836	市単独	6,487	6,912	5,950	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	1
14	緊急雇用(菊伝承事業)	笠間市が市営菊栽培所で保有する菊の栽培技術を民間に広く普及伝承させ、毎年開催する「笠間の菊まつり」において装飾展示する菊を充実させる。	106 政策的事業	栽培菊鉢数(菊栽培所と共同)	鉢	2,000	2,000	2,000	県補助	3,369	3,206	2,698	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	11

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

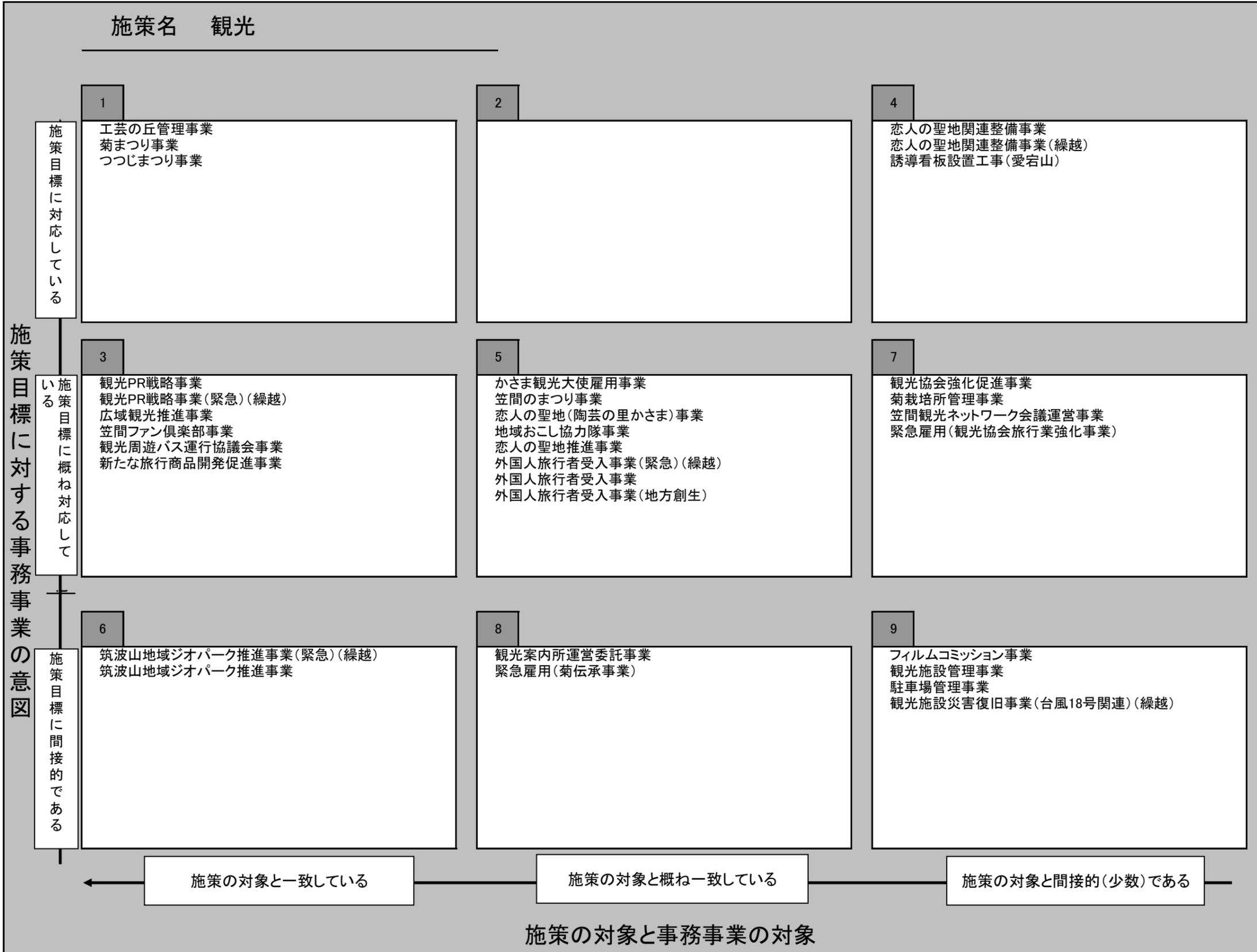
	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
15	(廃止)緊急雇用(観光協会業務推進事業)	笠間観光協会において、観光案内など観光客への利便性の向上と中心市街地の活性化を目的に、笠間稲荷神社門前通りに事務所を移転し、土日祝日も事務所を開所し事業を進めている。観光協会の案内業務等事業をより推進すること、地域求職者の雇用機会を創出することを目的とする。平成26年度で県の補助事業終了予定。	106 政策的事業	入込観光客数	人	3,547,500	3,521,300	0	県補助	1,465	1,357	0	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	
16	(廃止)緊急雇用(観光旅行業強化事業)	笠間観光協会において、旅行業を強化し、通年型観光地を目指すことにより中心市街地の活性化を図る。	106 政策的事業	入込観光客数	人	0	3,521,300	0	県補助	0	110	0	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	
17	観光周遊バス運行協議会事業	観光客の周遊観光の促進のために平成13年に無料で開始され、平成20年に新型バスが導入されたのを機に有料化で運行されている。平成21年10月から一日乗車券の扱いが開始された。・1回乗車につき 100円・1日フリー乗車券 200円 笠間市内観光周遊バス運行協議会 構成団体・笠間市 ・日動美術館・笠間稲荷神社・茨城県陶芸美術館・笠間工芸の丘 ・笠間観光協会・笠間ショッピングセンター(H25から)	106 政策的事業	利用者数	人	24,568	24,444	23,519	市単独	2,400	2,400	4,200	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	7
18	観光案内所運営委託事業	JR笠間駅前に観光案内所を設置し、観光客の利用向上を図るために観光案内・刊行パンフレット配布・周辺の清掃等を行う。観光協会に運営を委託する。平成24年10月から稲荷駐車場利便施設での観光案内業務(土曜日、日曜日、祝祭日のみ)を委託する。	106 政策的事業	利用者数	人	23,385	22,871	27,425	市単独	3,528	3,652	3,656	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	9
19	笠間のまつり事業	市民自らの手で創りあげ、誰でも参加できる市民参加型の祭りとして、平成3年から灯籠流しと光のオブジェ(ねぶた&神輿)のパレードが開催されている。	106 政策的事業	入込客数	人	41,000	42,000	45,500	市単独	7,290	7,290	7,290	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	8
20	菊まつり事業	平成19年に100回を迎えた菊まつりを市民参加型で永続的な菊まつりとして開催することを目的に、関係機関により設立した。協議会によるテレビ・新聞社・旅行会社等へのキャンペーンを行い、観光客の誘致に努めている。	106 政策的事業	入込客数	人	809,000	813,000	789,000	市単独	9,897	9,391	9,742	04 おもてなしの心の醸成と充実	商工観光課	1
21	広域観光推進事業	豊かで親しみやすい自然や伝統ある歴史、文化遺産などの多様な観光資源を紹介宣伝し、観光客の誘致を図るとともに、旅行商品の企画・造成を促進しながら、観光振興を図る。【参加団体】水戸・笠間・大洗観光協議会 漫遊いばらき観光キャンペーン協議会 いばらき県央地域観光協議会 茨城空港周辺地域資源活用推進連絡会 笠間・吾国愛宕県立自然公園協議会	106 政策的事業	入込観光客数	人	3,547,500	3,521,300	3,600,000	市単独	2,338	2,788	2,788	05 広域連携による魅力づくり	商工観光課	3
22	広域観光推進事業(加速化交付金)	加速化交付金を活用し、益子町と広域連携し、陶芸のまちとしての認知度向上を目指す。平成28年度繰越	106 政策的事業	入込観光客数	人	0	0	0	国補助	0	0	2,549	05 広域連携による魅力づくり	商工観光課	
23	観光協会強化促進事業	観光事業の振興と健全な発展を図り、笠間市に観光客を誘致し地域経済の発展に資するため、観光協会の育成強化を推進する。	106 政策的事業	事業収益	円	2,606,490	11,084,299	12,615,092	市単独	27,060	27,270	27,270	03 観光振興と交流の担い手づくり	商工観光課	9
24	(廃止)岩間夏まつり事業	岩間地区の各地区に受け継がれてきた伝統芸能を、後世に伝承する岩間の夏まつりに対する補助。友部菊花会・駒場はたるの会への補助はH23年度終了。	106 政策的事業	入込客数(岩間の夏まつり)	人	0	0	0	市単独	0	0	0	03 観光振興と交流の担い手づくり	商工観光課	
25	(廃止)ご当地発車メロディ導入事業	現在、友部駅・岩間駅については駅舎整備に併せご当地発車メロディとして笠間市にゆかりのある「坂本九」氏にちなんだメロディを使用している。笠間駅についても、「坂本九」氏にちなんだ発車メロディを導入することで、駅利用者により本市にゆかりのあることをアピールし、観光交流拠点としての魅力の向上を図る。	106 政策的事業	導入楽曲(上下線)	曲	0	2	0	市単独	0	901	0	04 おもてなしの心の醸成と充実	企画政策課	
26	観光PR戦略事業	笠間市の知名度アップと新規観光客の拡大を図るため、観光関連団体との連携のもと観光戦略を図る。	106 政策的事業	入込観光客数	人	0	3,521,300	3,600,000	市単独	0	0	24	02 情報発信の強化	商工観光課	3
27	筑波山地域ジオパーク推進事業(緊急)(繰越)	貴重な地域資源の適切な保護及び広域連携、新たな価値の付加による産業の活性化を図るため、筑波山周辺地域ジオパーク構想を推進する。	106 政策的事業	ジオ関連施設訪問者	人	0	50	169	市単独	0	0	841	01 多様な観光魅力の創出	企画政策課	5
28	筑波山地域ジオパーク推進事業	貴重な地域資源の適切な保護及び広域連携、新たな価値の付加による産業の活性化を図るため、筑波山周辺地域ジオパーク構想を推進する。	106 政策的事業	ジオ関連施設来訪者数	人	0	0	0	市単独	187	463	420	01 多様な観光魅力の創出	企画政策課	5
29	かさま観光大使雇用事業	笠間市の観光イベントや県内外の観光キャンペーンに参加することによりPRの推進を図る。大使人数 4名 大使任期 2年 毎年新規に2名を選考し、入れ替えを行い4名体制	106 政策的事業	出勤日数	日	127	138	124	市単独	2,110	2,324	2,071	02 情報発信の強化	商工観光課	8

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

	施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			小施策	担当課	貢献度評価
				成果指標①	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
30	フィルムコミッション事業	笠間市の豊かな自然、歴史的建造物、公共施設等を市ホームページや茨城県フィルムコミッション推進室との連携を図りながら紹介し、魅力を発信することにより、テレビ・映画等での使用を推進し、笠間市のPRを図っていく。	106 政策的事業	FC関係経済効果	円	907,700	433,100	874,000	市単独	64	67	71	02 情報発信の強化	商工観光課	12
31	観光PR戦略事業(緊急)(繰越)	笠間の知名度アップと新規観光客の拡大を目的に、通年滞在型の観光振興を図るため、観光関連団体との連携のもと観光戦略を図る。	106 政策的事業	入込観光客数	人	3,547,500	3,521,300	3,600,000	市単独	2,727	2,208	2,430	02 情報発信の強化	商工観光課	3
32	笠間観光ネットワーク会議運営事業	笠間観光振興基本計画の各種施策の推進に当って、観光協会をはじめ、観光関連団体、観光関連事業者とのより一層の連携の強化を図り、市民、行政、各種団体等で組織する「笠間観光ネットワーク会議」を設置し、総合的な調整や連携を図りながら、効果的な事業の進行管理を行う。	106 政策的事業	出席率	%	80	80	80	市単独	60	66	45	02 情報発信の強化	商工観光課	11
33	地域おこし協力隊事業	平成21年度から総務省が取り組んでいる地域おこし協力隊事業を活用し、都市部に在住する意欲ある人材を受け入れ、最長3年の活動期間の中で、本市の産業振興による地域活性化を目標とした地域おこし活動に従事し、地域力の維持・強化につながるような起爆剤となることを目指す。加えて、活動期間終了後に、地域おこし協力隊自身の定住及び起業等を目指す。	106 政策的事業	移住者数(協力隊)	人	3	3	2	市単独	9,124	8,169	9,896	02 情報発信の強化	まちづくり推進課	8
34	笠間ファン倶楽部推進事業(緊急)(繰越)	笠間ファンを増やすことにより交流人口の拡充を図り、産業振興や地域活性化を推進することを目的として事業化された。取り組みとしては、平成16年12月に「笠間ファン倶楽部通信」が創刊し、笠間ファンの募集を開始し、現在までに約1,690名の会員が登録されている。平成23年度から有料会員制度を導入し、笠間の特産品を会員特典として送付するなど、会員との意思疎通を図った。さらに、発信力のある会員が多い東京地区に東京支部を発足させるなど組織強化をした。その他、会員を対象に農業体験など笠間特有の体験事業を年数回実施している。H27年度からは、情報発信力の強化及びふるさと納税制度との連携を目指し、有料会員制度を廃止。無料会員の一本化により、すべての会員に対しより多くの情報発信の機会を設ける。	106 政策的事業	笠間ファン倶楽部会員数	人	1,655	1,682	1,719	国補助	1,468	1,600	2,027	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	5
35	恋人の聖地(陶芸の里かさま)事業	地域活性化支援センターが地域の活性化及び少子化対策への貢献を目的に展開している「恋人の聖地」づくり事業において、「陶芸の里かさま」として選定された。「恋人の聖地」に選定されたことにより、笠間市の知名度向上、結婚支援付加価値化、市内の観光施設及び商業施設の回遊性により交流人口の増加等を図る。	106 政策的事業	サポートショップ数	店	10	10	10	市単独	224	228	233	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	10
36	新たな旅行商品開発促進事業(緊急)(繰越)	笠間観光協会との連携により、新たな旅行商品を企画し、新規観光客の誘致活動を行うことで、笠間の知名度をアップさせる。	106 政策的事業	入込観光客数	人	3,547,500	3,521,300	3,600,000	市単独	554	454	281	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	7
37	外国人旅行者受入事業	外国人旅行者の受入態勢を整え快適に滞在できる観光地を目的とし、観光客の増加による地域振興を図る。	106 政策的事業	入込観光客数	人	0	0	3,600,000	国補助	0	0	143	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	4
38	外国人旅行者受入事業(地方創生)	外国人旅行者の受入態勢を整え快適に滞在できる観光地を目的とし、観光客の増加による地域振興を図る。	106 政策的事業	入込観光客数	人	0	0	3,600,000	国補助	0	0	4,179	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	4
39	恋人の聖地推進事業	恋人の聖地に選定されたことにより、笠間市の知名度向上、結婚支援付加価値化、市内の観光施設及び商業施設の回遊性により交流人口の増加等を図るため、イベント等を開催し恋人の聖地を推進する。	106 政策的事業	イベント入込客数	人	5,502	2,215	250	市単独	1,393	808	534	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	8
40	外国人旅行者受入事業(緊急)(繰越)	外国人旅行者の受入態勢を整え快適に滞在できる観光地を目的とし、観光客の増加を図ることにより地域振興を図る。	106 政策的事業	入込観光客数	人	0	3,521,300	3,600,000	国補助	0	679	240	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	4
41	緊急雇用(観光協会旅行業強化事業)	(一社)笠間観光協会において、旅行業を強化し、通年型観光地を目指すことにより中心市街地の活性化を図る。	106 政策的事業	入込観光客数	人	0	3,521,300	3,600,000	県補助	0	0	1,281	01 多様な観光魅力の創出	商工観光課	8

# シート1 施策内事務事業目的直結度評価

施策名 観光



義務的事業, 内部事務事業 観光動態調査事業
---------------------------

# シート2施策内事務事業貢献度評価

施策名 観光

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- 非常に高い 1
- 高い 2 3
- 中 4 5 6
- 低い 7 8 9

1 工芸の丘管理事業 菊まつり事業 つつじまつり事業	2	4 外国人旅行者受入事業 外国人旅行者受入事業(緊急)(繰越) 外国人旅行者受入事業(地方創生)
3 観光PR戦略事業 広域観光推進事業 観光PR戦略事業(繰越)	5 笠間ファン倶楽部事業(緊急)(繰越) 筑波山地域ジオパーク推進事業(緊急)(繰越) 筑波山地域ジオパーク推進事業	7 観光周遊バス運行協議会事業 新たな旅行商品開発促進事業(緊急)(繰越) 恋人の聖地関連整備事業 恋人の聖地関連整備事業(繰越) 誘導看板整備事業(愛宕山)
6	8 かさま観光大使雇用事業 笠間のまつり事業 緊急雇用(観光協会旅行業強化事業) 地域おこし協力隊事業 恋人の聖地推進事業	10 恋人の聖地(陶芸の里かさま)事業
9 観光協会強化促進事業 観光案内所運営委託事業 観光施設管理事業 駐車場管理事業	11 笠間観光ネットワーク会議運営事業 菊栽培所管理事業 緊急雇用(菊伝承事業)	12 フィルムコミッション事業

成果は高い(上位)      成果はやや高い(中位)      成果は普通(中位)      成果は低い、ほとんど出ていない若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア  
観光施設災害復旧事業(台風18号関連)(繰越)

義務的・内部的な事務事業  
観光動態調査事業

事務事業の成果基準の説明